

第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画（案） いただいたご意見とそれに対する市の考え方

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
1	メールフォーム (以下すべてメールフォーム)	42	<p>自宅近くの第二児童館をたまに利用しますが、いつも利用者が少なく、子供のコミュニケーションのために通いたいものうまく利用できない状態です。杉並の時は毎週同じ時間に教室のようなイベントがあり、職員の方が司会となり同年齢の子供たちと交流することができ、子供も楽しそうでした。</p> <p>お母さんたちだけだと会話が続かないこともあるので、もう少し職員の方が関わってくださると嬉しいです。</p>	<p>第二児童館では、乳幼児と保護者向けの交流事業や職員による読み聞かせ、工作等の事業を実施しておりますので、是非ご参加ください。各種事業の内容や日程等の情報については、児童館だよりや市ホームページでご確認いただけます。</p>	児童青少年課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
2		69	<p>稲城市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例に基づき医療費を助成しますとの記載があるが、所得制限についてふれていない。東京都の他の自治体では、所得制限を撤廃しているところもあり、東京都の条例に関わらず、なぜ稲城市だけは撤廃出来ないのか、所得制限を撤廃している他の自治体との比較も踏まえ明確かつ納得のいく説明をして頂きたい。基本的に子育て支援について、平等と公平性が求められ、税負担の観点からも公平性に欠けています。また、世帯全体収入(両親の共働き等)では、所得制限以上の収入があるにも関わらず、医療費助成の対象となる世帯もあり、公平とは言えない。いずれにせよ、この医療費助成の所得制限について、子育ての支援の公正性の観点、今後の対応も踏まえ、明確かつ納得できる説明と見直しをお願いしたい。</p>	<p>所得制限については、条例のなかで所得制限について記載されていることから条例に基づきという記載方法にしております。他の所得制限がある項目についても、同様の記載方法にしております。所得制限撤廃についてですが、本制度については、東京都制度、施策の範囲内で実施している事業であり、都が定める基準を超過した医療費の全額を単独事業として市が負担することとなります。他市では、所得制限撤廃を実施しているところもありますが、所得制限撤廃を実施するにあたっては、市の財政状況や他の事業との優先度等を総合的に勘案する必要があることから、当市としましては、現状の東京都制度の中で子育て施策として実施する方針であり、今のところ所得制限撤廃を実施する予定はありません。</p>	子育て支援課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
3		55	<p>0歳と4歳の子供を育てています。府中には駅前たっちという施設があり、1時間単位で子供を見ることができます。子供が2歳の頃、イヤイヤが激しく買い物だけでも一苦勞でした。1時間だけでも就労や疾病などの理由ではなく、買い物の間預かってくれるところがあれば子育てしやすくなると思います。できれば、預けやすい500円程度の金額で、1時間単位で、保育園の一時保育の場所を活用するなどして実現し、ゆくゆくは駅前の交通の便がいいところに一時保育の施設を作っていただくよう、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>一時預かり事業については、現在も就労・疾病以外でも利用いただくことは可能です。料金について、市が経費の一部を負担している施設は4時間未満の利用が3歳児以上1500円・3歳児未満1800円で実施しております。</p> <p>現状でも駅前の認可保育所が一時預かりを実施しておりますので、専用の施設を駅前に設置することは考えておりません。</p>	子育て支援課
4		54	<p>育児支援ヘルパーの制度は有り難いと思っておりますが、公共の支援サービスを利用することに慣れておらず、どんな方がきていただけるか、何をいただけるか、わからなくて、産後体力が落ち、助けていただきたかったですが利用できませんでした。他市と比較して金額が高いことも、利用できなかった理由のひとつです。</p> <p>より利用しやすくするよう母子手帳の配布とともに、子育て支援を1回無料券をつけることや、利用者の体験談を聞いたり、ヘルパーさんとの交流会を設けるなどご検討いただければと存じます。</p>	<p>育児支援ヘルパー事業については、現在の事業を継続していくこととしており、無料券の配布については実施予定はございません。</p>	子育て支援課 (子ども家庭センター)

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
5		61	<p>子育て支援に関する情報提供についてです。私はいなぎ地図ラボという団体のメンバーです。子育てマップの件ではいろいろご協力いただきました。市民だからこそ市が把握できない悩みを聞いたりすることもあったり、身近にどういう情報が欲しいかを聞く機会もあります。既存の機関やボランティアとだけでなく、市内の様々な団体と密に連絡を取り合ってニーズを把握する機会を積極的に増やしてもらいたいと思います。そういう機会が増えると市民側からお力になれることも増えると思います。もう一步踏み込んだ協働の形をどこかに加えていただけたら幸いです。</p>	<p>市民の団体として子育てマップを作成される際には情報提供をさせていただいております。市も HP・広報・子育てブックで情報発信をしており、情報が足りない部分を相互に補完していくことが重要だと考えます。</p>	子育て支援課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
6		59	<p>相談窓口に関する提案です。いろいろ悩みを抱えた人が窓口であまりプライバシーもなく、子どもを抱えたまま相談に行くのはとてもハードルが高いと思います。私の以前働いていた某市では子育て支援は、課の端に狭いですがパーティションで仕切ってスペースをつくり、そのはじっこにマットをおもちゃをおいてキッズスペースをつくり、安心した空間で子どもを座らせて相談できるようにしていました。職員のロッカールームだった狭い部屋を改造して授乳スペースにしました。教育課を同じ階において、子どもが大きくなっても情報の連携がとりやすいようにしました。継ぎ目のない連携のとりようを庁内の部署間で話し合っよりよい引き継ぎ方を考えていってほしいと思います。ただ、きつとちょっとした相談は最初は家に近い身近な子育てひろばなどでできることがベストだと思います。</p>	<p>本庁の子育て支援課にスペースを設けることは、稲城市役所の施設規模から考えると困難ですが、授乳スペースは設けております。また、子育ての相談については子ども家庭支援センターでも子どもと家庭の総合相談窓口においてお受けしておりますし、プライバシー保護が必要な場合は、本庁であっても相談室を用意しております。また、保育所での子育て広場でも子育てに関するアドバイス等を実施しております。</p> <p>子育て支援分野と教育分野の連携についてですが、平成26年度の組織改正で幼稚園をご利用の方に対する補助制度などを教育分野の部署から子育て支援課に一元化しました。これにより令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の制度にスムーズに対応することができました。学校教育に関する部署を同じ階におくことはこれも庁舎のスペース的に難しいですが、保育所・幼稚園から学校への情報提供や市の相談窓口間の連携は取っております。</p>	子育て支援課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
7		72	「育児支援ヘルパー」を多胎児家庭が利用する場合、年齢や時間の制限を緩和し、利用料金を値下げして欲しいです。草津市は年齢制限なし、上限120時間、利用料金無料となっています。東京都や厚労省の多胎育児支援事業を利用していただき、稲城市でも多胎育児に対する公的支援を受けられるようになることを希望します。	育児支援ヘルパー事業については、現在の事業を継続して実施していくこととしており、多胎児支援については実施予定はございません。	子育て支援課(子ども家庭支援センター)
8		73,74	多胎児が「健康診査」や「歯科健診」を受診する際、健診中の子供の世話や手伝いをする「多胎児ファミリー・健診サポート」制度を導入して欲しい。	お申し出の制度につきましては、令和2年度から都の補助事業となる、「とうきょうママパパ応援事業」の中の「多胎児家庭サポーター事業」に該当するものと考えますが、この新たな事業の詳細が都より示されていないことから、実施するかについては現在未定でございます。 なお、体調不良などのため家事・育児が困難で、昼間に他に養育などをする方がいない場合には、多胎児も含め、家事的援助や育児援助、乳幼児の健康診断等の付き添い援助を行う「育児支援ヘルパー事業」を既に実施しております。	健康課・子ども家庭支援センター

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
9		75	「ふたごの会」の開催回数を増やして欲しい。 多胎児の場合、公園や児童館などへ行っても子供に目を配るのに精いっぱい、他の保護者と会話をする余裕もなく、交流や情報交換など全く出来ないことが多いので、「ふたごの会」はとても貴重な機会なのです。	「ふたごの会」を貴重な場と捉えていただき、ありがとうございます。 年6回開催している「ふたごの会」は、参加者数が年々減少傾向にあることから、開催回数は、現在の年6回を継続してまいります。	健康課
10		53	男性の育休取得について、昨今議論が進んでいます。国の方針など取得が促進されていることは、私としては歓迎しています。私には2人の子がおり、実際に短い期間ながらそれぞれ育休を取得しました。その経験は、人生の大きな収穫でした。ひとりでも多くの父親に経験してほしいし、その思いを共有してほしいと願っています。どうか、男性による育休取得を地域で応援できる取組が出来ないでしょうか。あるいは、男性が育児に関心を寄せるための仕掛けを、考えてほしいと感じています。例えば、新米父親やプレパパを集め、男性だけで意見交換会を行ってみたり、育休を地域で支えるメンターを作る制度など。比較的、就業している男性が多いはずなので、相対するよりメールやネットの掲示板などを活用した情報共有制度があると便利になると考えます。 少し話が逸れますが、赤ちゃんの誕生は家族はも	・育休取得等ワーク・ライフ・バランスの推進に関しては、市では、計画案92ページにありますように普及啓発を行っております。 ・男性への育児支援につきましては、妊娠届出時に「父親手帳」を配布している他、両親学級において、赤ちゃんの着替えや入浴実習を父親中心に実施するなど取り組んでおります。	市民協働課・健康課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
			<p> ちろん、地域にとっても尊いことです。ゆっくりと地域が赤ちゃんを認め、祝福しつづけられるような雰囲気が必要なのではないかと思います。赤ちゃん同士が集まることで、必然的に親同士が顔を合わせます。同じ月齢の子があつまる保健所の検診も、状況は同じですが、親同士の情報交換や仲間づくりは難しいと見受けられました。例えば、ハイハイ競争や、ハーフバースデーなど、限られた時期だけの赤ちゃんを対象に、地域で集まることはできないかと考えています。人的な支援、公的な場、アイデアなど、負担をお願いすることになるのですが、地域の人材を活用して協働することも検討していただきたいのです。 </p>		

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
11		79	不登校(小、中、高校)の親子を支える支援、相談できる場所、子どもの居場所や、同じ状況の親たちがおしゃべりできるような支援もあるとよいなと思います。計画から無くならないで、より支援が深まっていくとよいなと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の適応指導教室「梨の実ルーム」において不登校または不登校傾向にある小中学生への学習支援、小集団での活動等の取組を継続してまいります。また、教育相談室の心理士やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制も継続して実施してまいります。 ・子どもの居場所については計画案 66 ページにある、児童館での「中・高校生タイム」や中・高校生の居場所の事業を通して支援を行ってまいります。 	指導課・児童青少年課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
12		55	<p>預かり事業の充実について。</p> <p>我が家は子どもが2人いますが、2人目の出産の際に臨時でショートステイができる保育園を探していました。しかし予約の取りにくさ・その結果、居心地の良さを得られるまで至らないことから、バオバブ保育園にしかお世話になることができませんでした。</p> <p>そのような状況なので、その他の状況でショートステイを利用することができません。予約を入れることの困難さを予想すると、そこまでの思いに至れません。</p> <p>どうかショートステイも拡大していただけるとありがたいです。または、幼稚園の預かり保育がしやすい環境になるだとか、市内のどこに住んでいるかに関わらず、整備をお願いしたいです。</p>	<p>ショートステイに関しましては、58ページに記載しておりますとおり令和2年度から現在の委託施設に加えて養育協力家庭での実施も予定しています。</p> <p>保育所での一時預かりにつきましては56ページにありますように現状の認可保育所9園に加え、今後認可保育所3園での開始を計画しています。</p> <p>私立幼稚園の預かり保育につきましては、引き続き、全園で実施を継続する計画となっております。</p>	<p>子育て支援課(子ども家庭支援センター)、 子育て支援課</p>

13		107	<p>子育て支援課、障害福祉課、健康課などの連携についてのお願い</p> <p>「各課の連携や方法を模索し、障害児親子のたらい回しを減らしてください」</p> <p>「障害福祉の情報を公開してください」</p> <p>障害児の親は、病弱で、周囲とは違いのある我が子を抱え、自分の心身も回復してない中で様々な悩みや困難に直面します。</p> <p>暗中模索で、努力し続け、自分の力だけではどうにもならない時、誰かに不安や悩みを吐き出したい時、励ましや安心材料となる情報が欲しい時、初めて勇気を出して、行政に出向きます。</p> <p>そこで初めてもらう言葉は、親子の悩みと不安に寄り添い、労い、安心の種となるものであって欲しい。私たちは皆、何度も「それはうちの担当じゃない」と言われ、移動と再説明を要求されて来ました。</p> <p>障害児親子の時間と体力と気力はその度に削られ、役所に行くことが辛く、悲しい体験となり、恐怖や不安すら感じる場になっていることも少なくありません。</p> <p>そのような体験をした人は、勇気を出して伝えることを諦め、我慢し始めます。</p> <p>本当に苦しく、助けを求めている人ほど、問題を抱えて孤立して行きます。</p> <p>それは、発達に問題を抱える子が必要な支援に繋が</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各課での情報共有を一層進めてまいります。 ・広報やホームページ、『障害福祉のしおり』などによる情報提供に努めてまいります。 	障害福祉課
----	--	-----	---	---	-------

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			<p>るタイミングを遅らせること、親のメンタルを不安定にすること、子どもを虐待やネグレクトの危険に晒すことを意味します。</p> <p>必要な情報を手軽に、手元で見つけられるように動き始めてください。</p> <p>そのために、当事者たちが蓄積した情報や、アイデアを活用してください。</p> <p>お金がない、余裕がない、は民官協力し合うことで打開して行けると思います。</p>		
14		92	<p>①武蔵野線を人も乗れるようにしてほしい</p> <p>②京王線若葉台駅を準特急停車駅にする</p>	本計画の範囲外のご意見です。ご意見として承りました。	

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
15		83	<p>① 目玉になるスポーツ施設、例えば年間通して使用できるスケートリンク、室内プールなどを設けて子どもたちの育成の場とする。全国の優秀な選手の練習場所や大会開催に活用する。</p> <p>② 学校内にフリースクールを置くこと、引きこもりの子を放っておかないこと</p> <p>③ 中学校において、全国や東京都の他の地区と比較して圧倒的に学力テストなどの平均点が高いのに、それに合った絶対評価がなされていないのはすごく危険である。5段階評価の5が少なすぎる。昔の相対評価より5のパーセンテージが少ない。都が出しているデータを見れば明らか。</p> <p>まじめに取り組んでいる生徒を褒めて伸ばす時代になぜ正しく評価しないのか、疑問である。</p> <p>やる気を削がれる一方である。教育の向上には全く繋がらない。まず、正しい絶対評価をすべきである。中学校の適切な評価の付け方を一律性を保つことで、先生や市の教育委員会への信頼を回復する正しい評価をつけてもらえないと稲城市離れが確実に起こると感じている。稲城市に住んで稲城市内の小学校、中学校へ入れて良かった、と心から思える評価をシンプルに望む</p>	<p>①本計画の範囲外のご意見です。ご意見として承りました。</p> <p>②現段階で、学校内にフリースクール（市立学校とは異なる教育機関）を設置する計画はございませんが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の活用により、児童・生徒及び保護者からの相談に対応するとともに、適応指導教室における学習支援や相談対応、学校復帰や進路選択に向けた支援などを引き続き実施してまいります。</p> <p>③学習評価につきましては、生徒の学習の実現状況を把握するとともに、生徒の学習活動を励まし、資質や能力を伸ばすためのものであり、生徒の実態等を踏まえ各学校が年間指導計画・評価計画を定めております。今後も、学習評価の妥当性と信頼性を確保するべく、適正で信頼される評価について引き続き研究してまいります。</p>	<p>①スポーツ推進課</p> <p>②、③指導課</p>

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
16		82	両親講座を大学で開設する。 30 講座くらい用意して、親としての心構えを勉強する。受講数に応じて今後の子ども手当などの支給額を決める。所得制限は無しにする。自信を持って子育てをすることができ、また各家庭の質があがり子どもの非行(防止※事務局加筆)に繋がると思っています。	親となることへの心構えや知識を習得するための講座は、市の独自事業であることから母親学級や両親学級は市の施設である保健センターで今後も実施してまいります。	健康課
17		53	若葉台地域に幼稚園がない。若葉台に幼稚園を作る。幼稚園は必要な場所に応じて、作る必要がある。全体数が足りているからといって間に合っているわけではない	幼稚園については送迎バスもあることから市全域をひとつの地区として教育・保育量を計画しており、また、保護者の方はそれぞれの私立幼稚園の教育内容を考慮してご利用いただくことを想定しております。	子育て支援課(保育幼稚園係)
18		81	病院の小児長期医療において チャイルドライフスペシャリストを置く	市立病院は「急性期病院(二次救急)」であり、患者が治療によって早く回復し、退院させる病院であるため、子供が長期に入院することにおける「チャイルドライフスペシャリスト」を置くことは、現状では困難です。	健康課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
19		85	①市立の中高一貫校(試験制)作る。 ②私立など遠方への通学をしなくていい選択肢を設けること。整った環境の中で無駄なく勉学に励み、市内の中に学区の中学校以外にも選択肢が増えることで、より安心して競い合い互いに向上していくことができる。	①本市において市立の中高一貫校を設置する計画はありません。 ②市立の中等教育学校、高等学校を設置する予定はございません。	教育総務課・学務課
20		90	①上谷戸大橋南の横断歩道がデコボコでベビーカーなどの車輪が引っ掛かり危ない ②同じく若葉台駅のホームも古いアスファルトの為デコボコである。早急に直してもらいたい	①計画案 89 ページにありますように道路整備に努めるとともに、個別で修繕等が必要な箇所については担当部署において必要性を判断し対応いたします。 ②本計画の範囲外のご意見です。ご意見として承りました。	土木課・管理課
21		88	上谷戸大橋南の信号機が橋から見通しが良すぎて速度違反と信号無視の車が多いので、取り締まってほしい	本計画の範囲外のご意見です。ご意見として承りました。	

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
22		93	<p>①子どもだけでも乗れる専用のタクシー</p> <p>②尾根幹線道路に警察署がほしい</p> <p>③駅のホームにホームドアの設置</p> <p>④市民が草木を世話する活動は悪くないのですが、街路樹において好きな植物を植えて世話するので、無秩序になり見た目も悪くさらには背の高い植物を植えると死角が出来、見通しが悪い。歩道での犯罪が見えにくくなる。過去にナイフで切りつけの犯罪もあったので、好き勝手な植物を植えるのではなく、植えていい植物を限定すべきである。</p>	<p>本計画の範囲外のご意見です。ご意見として承りました。</p>	<p>総務契約課、管理課</p>

23		83、96-	<p>(1) 「スクールカウンセラーを週1回配置」となっていますが、現状、枠がすぐに埋まり、カウンセリングが必要な人への対応が間に合っていない状況です。少なくとも週2回とする対応が必要ではないでしょうか。これはかなり需要・緊急度の高い問題と思われまます。</p> <p>(2) それに関連しますが、不登校についての対応の言及がこの事業計画には明示的に盛り込まれていません。中学校ではおそらく5-10%弱程度の子どもが不登校と思われ、市として何もないかのように振る舞うことはできない現状です。現在、例えば数少ないカウンセリング（学校）・市の教育相談室の他、梨の実ルーム等がありますが、不登校にはかなり多様なパターンがあり、梨の実ルームだけでは決してカバーできません。さまざまなケースの不登校の子どもたちと親たちをケアする体制が必要です。市がこの問題に本気で取り組んでいるという姿勢を見せることが重要かと思えます。</p> <p>(3) 性的マイノリティーに対する行政の意識・学校での取り組み（市職員・教員の意識改革、教育現場での施策）が、事業計画の中に全く盛り込まれていないようですが、5年のスパンの計画を出す際に、やはり何も言及しないままでのことのできない論点であると思われまます。稲城市として、この問題を意識し積極的に取り組む姿勢があるということ</p>	<p>(1) スクールカウンセラーにつきましては、東京都から各公立学校に配置されており、配置日数の増加については引き続き東京都に要望してまいります。市では、教育相談室の心理士やスクールソーシャルワーカー等の活用により、児童・生徒及び保護者からの相談に対応する体制を整備しております。</p> <p>(2) 不登校については、本計画P79,80,83でも触れておりますが、不登校または不登校傾向にある小中学生への支援として、教育相談室の心理士やスクールカウンセラーによる相談体制を継続するとともに、平成31年度よりスクールソーシャルワーカーの配置日数を増加して支援に取り組んでおります。不登校への支援につきましては、第三次稲城市教育振興基本計画（令和2年度～6年度）に位置付けて引き続き対応してまいります。</p> <p>(3) 性的マイノリティーを含めた、学校における人権教育の推進につきましては、第三次稲城市教育振興基本計画（令和2年度～6年度）に位置付けて推進してまいります。</p>	指導課
----	--	--------	--	--	-----

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			を見せることが重要です。		
24		72	<p>母親学級・両親学級の内容のアップデートもしくは個別に父親学級の開催が必要だと感じます。</p> <p>パパの育休取得率の増加が喫緊の課題であると感じております。育休を取得しようかどうか迷っている方の背中を押してあげたり、せっかく育休を取得しても「とるだけ育休」とならないように、父親となる準備が出来るような内容の講座やワークショップが土日開催であると良いと思います。</p> <p>行政主体でも、企業やNPOのような協力団体との共催や委託でも良いと思いますので、今後の取り組みの一つにぜひ加えて欲しいと思います。</p>	<p>・母親学級・両親学級の内容につきましては、参加者アンケートのご意見などを参考に、父親向けの内容を盛り込むなど対応してきております。今後も参加者等の意見を参考に適宜、対応してまいります。</p> <p>・講座や情報誌を通じた情報提供の際に、いただいたご意見も反映できるよう努めてまいります。</p>	健康課・市民協働課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
25		66	<p>中高生の居場所づくり支援について現在の取組みのさらなる発展として</p> <p>①フリースペースの設置</p> <p>②中高生文化祭などのイベントの開催</p> <p>のご検討をお願いします。</p> <p>①は既存の施設(学校や公民館)で良いので、定期的に開催し、中高生が自由に出入りできる場としての提供が望まれると思います。見守る大人もボランティアで賄えれば、行政への負担はほとんどなく実現できると思います。</p> <p>②は各学校のイベントとは別に市内の中学高校が参加する横断的な取り組みとして、開催するイベントです。実行委員も中高生が担当し、企画から運営までを行う(大人はあくまでサポートに徹する)ようなイベントが良いと思います。中高生も地域交流、地域活性化の担い手として、考える機会を提供できればと思います。</p>	<p>・児童館では中高生の居場所事業として「中・高校生タイム」を実施しております。中高生向けの事業についてのご意見として承りました。</p> <p>・城山公民館で実施している中高生の居場所事業につきましては、実施団体への活動支援として行政が携わっており①のフリースペースも設置されています。そのなかで空間的な居場所であると同時に精神的な居場所として団体の方が中高生の不安や悩みの相談業務などが主たる内容となっているため、参考意見として実施団体と情報共有いたします。また、小学校5年生から26歳までの青少年を対象として地域で活躍できる人材を育成するジュニアワーカーセミナー・青年ワーカーセミナーなどの事業に取り組み、活躍の場を提供しています。</p>	児童青少年課
26		108	<p>障がい児保育・教育の推進について障がい児やその保護者への支援の提供も非常に重要ですが、障がいの有無に関わらず、お互いの理解の促進のために一緒になって活動できるような取り組みや、共に学べる場の提供が今後必要だと思います。</p>	<p>障害のある方もない方も共にふれあえる交流事業について、引き続き支援してまいります。</p>	障害福祉課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
27		79-80	<p>待機児童や保育所増設等、未就学児に対する保障は増えていると思いますが、学齢期の子供たちに対する支援は薄すぎると思います。</p> <p>子供の不登校について市ではフレンド平尾内にフリースクールがありますが、子供が学校へも行けないうのにフリースクールへ行けるはずありません。子供にとっての苦痛を学校外で話せる心理士を自宅に派遣してもらうことはできないのか？</p> <p>また子供も苦しいですが、家族も先の見えない、どうしたら今の状況から子供が楽になるのか考えたり、家で暴力をふるう我が子に疲弊してしまいます。親同士の気持ちを吐き出す場所が必要だと思えます。自分が子供時代より、見えないけどはるかに増えていると思います。</p> <p>できる子供、問題のない子供だけに目を向けるのではなく、見た目にはふつうだけど生きにくさを抱えている子供に寄り添う策を盛り込んでいただきたいと思えます。</p>	<p>・不登校については、本計画 P79,80,83でも触れておりますが、不登校または不登校傾向にある小中学生への支援として、教育相談室の心理士やスクールカウンセラーによる相談体制を継続するとともに、平成 31 年度よりスクールソーシャルワーカーの配置日数を増加して支援に取り組んでおります。</p> <p>不登校への支援につきましては、第三次稲城市教育振興基本計画（令和 2 年度～6 年度）に位置付けて引き続き対応してまいります。</p>	指導課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
28		54-55	<p>地域子育て支援拠点事業を充実させてください。 私事ですが、保育園の広場に0才から遊びに行き、広場の保育士に悩みや相談を聞いてもらい、子供が1才になるとリフレッシュのために幼稚園へ入るまで一時保育で預けました。小さい頃から広場で見知った保育士にみてもらえたり違う保育士であっても、広場の保育士に話をしたりして、保護者としてとても安心できました。横の繋がりをとても大事にしています。</p> <p>いま子供は学齢期となりましたが、発達障害や不登校等、小さい頃から見知っている保育士に話を聞いてもらったり、相談できたりしています。</p> <p>そんな、総合的に子供と保護者に接してくれる場所を大事にして欲しいと思います。</p>	<p>計画案において、子ども家庭支援センター等でのあそびのひろば事業の拡充を目標とし、保育所の子育て広場については新園設置と併せて事業拡大を図ることを目標としております。</p>	子育て支援課

29	不明	<p>3年半前越してきたのは、長男が1歳、次男を妊娠中の時でした。大人2人に子1人という余裕ある関係性が崩壊し、2対2という全く新しい関係性を築いていくのは、ただでさえ産後の寝不足と精神不安定さがある中で大変でした。甘えたい盛りの長男の相手をしつつ、一日中授乳をしながら、二人のおむつ替えに、だっこおんぶしながらの家事にと、心身共に働き通しです。当時の私が喉から手が出るほど欲しかった支援は、閉じた家の中の空気を入れ替えてくれるような誰かの存在でした。1時間でもいい、誰かが訪ねてきてくれることで、その時間だけは大人と話すことができ、救われました。</p> <p>車のシートに2人を乗せるだけでもすんなりいかず大仕事になります。買い物や図書館に付き添い人がいてくれたら、その時間が苦痛や戦闘体勢ではなく、ほっとするあたたかい時間になることでしょう。</p> <p>検診で、兄弟のケアをしてくれる人も欲しかったです。託児じゃなくていい、ただちょっと見てくれる、荷物を持ってくれるだけでいいんです。シルバーさんや、保育士を目指す学生さん等、市内の眠っている力を活かさないでしょうか。</p> <p>たった一年前までの話。私が言わなければ同じことで苦しむお母さんが絶えないと思うとたまらず、書きました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターで実施している健診には、兄弟連れの方や荷物の多い方等がいらっしゃいます。そのような際にはスタッフが荷物を持つ等、対応しております。今後も受診される方の状況に応じて対応してまいります。 ・育児支援ヘルパー事業については、現在の事業を継続していくこととしており、無料券の配布については実施予定はございません。 	子ども家庭支援センター・健康課
----	----	--	--	-----------------

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			<p>人員配置だけでなく、無料で一度ヘルパーをお試しできるような体験チケットがあったらいいなと思います。知らない人が家に来るなんて不安…でも1時間でも助けてもらえる良さを体験できたら、稲城のお母さんたちは確実に救われるし、また利用してみようと思うきっかけになると思います。</p> <p>親がリラックスし笑顔になれる時間が1分でも増えることが、子育てにおいてどれだけ大切か。当事者が、助けてと援助を求める力、受援力を鍛えるのも必要です。市がそのためのきっかけの仕組みを作ること、子育て支援になると考えます。</p> <p>妊婦教室で、産後にヘルパーを利用した人の体験談を聞く時間を設けるのも検討していただきたいです。その上で体験チケットがあれば、よりハードルが下がるのではないのでしょうか。</p>		
30		83	<p>「子どもたちの心理的ケアの必要性と全ての子どもたちが安心して幸せに生きる権利について」</p> <p>この5年間、様々な親子と仲良くなって来ましたが、常に話題に上がるのが、子どもの不登校やいじめの問題、障害児親子の生きづらさです。</p> <p>稲城の障害児親子は、市外施設を利用する機会が多く、また余裕がないため、健常児親子との接点が少なく、仲良くなって理解を深め合う機会に恵まれて</p>	<p>・いじめについては、本計画 P83 でも触れておりますが、いじめは子どもの生命や心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼす問題だと認識しており、教育委員会及び各学校では、稲城市いじめ防止基本方針及び学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでお</p>	指導課、障害福祉課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			<p>きませんでした。</p> <p>保育園や幼稚園の行き渋りは、周囲との違いをそのまま受け止めたり配慮したりしてもらえず、傷付いてきたことの出発点でもあります。</p> <p>学校にいじめやそれが許される雰囲気があることで、優しい子どもが不登校にならざるを得ないことも多いです。</p> <p>また、多くの家庭に、「虐待まではいかない」精神的な暴力(暴言、無視、不機嫌、無共感などのモラハラ)が蔓延していることもいじめや不登校の大きな原因のひとつだと考えます。</p> <p>それは、大人も子どもも一人一人が持っている人権が、差別や様々な暴力によって侵害されている状態、またそれに気付いていない状態です。</p> <p>いじめられた時の正しい対処法や、外部への安全なヘルプの出し方、違いや多様性を認め、自分と他人を同じように大切にすることの重要性の再教育が必要と考えます。</p> <p>子どもの権利条約が守られ、他者や違いを攻撃排除せず認め合える稲城市を目指し、注力し始めて頂きたいです。</p>	<p>ります。</p> <p>いじめ問題への対応につきましては、第三次稲城市教育振興基本計画(令和2年度～6年度)に位置付け、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>・障害児への支援につきましては、各種相談やそれぞれの状況に応じて、適切に障害福祉サービスが提供されているものと考えております。</p>	

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
31		13,20,54	<p>保育園での「子育てひろば事業」の「拡充」(P54)において求められているのは、「地域子育て支援拠点」としての「質」と考えます。その理由は3つあります。</p> <p>一つには、保育園という地域資源の特性を生かす、という観点からです。保育士・看護師・保健師がいて、乳幼児のための環境が整えられているからです。</p> <p>二つ目の理由は、「一時預かり事業」との連携の観点からです。稲城市では、「子育てひろば事業」と「一時預かり事業」が同じ施設でおこなわれています。これは、育児不安を抱えながらも預けるのをためらう保護者の精神的負担を軽くし、大きなメリットになっています。</p> <p>三つめには、「地域における社会資源の効果的な活用」(P13)という観点から、です。当事者グループができ互いに支え合ったり、利用者を経て支援の担い手になる方も多いです。</p> <p>国は中学校区にひとつという割合での常設の拠点施設設置を目標に挙げています。各地区の「子育てひろば」が一度に基準を満たすことは容易ではありませんが、「地域子育て支援拠点事業」として、「拠り所」となっていくといいなと思います。</p>	<p>計画案においては、私立保育所で実施している子育てひろば事業は、新園の設置と併せて事業拡大を図ることを目標としております。</p> <p>事業実施者にはより一層質を確保していくように伝えてまいります。</p>	子育て支援課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
32		3-56	<p>ショートステイは他市頼みですか？ スクールカウンセラーを常駐させて下さい。 教育委員会等、相談窓口の時間も考慮下さい。 保育園充実も良いですが、賃金も充実して頂きますと、ライフワークバランスが崩れる一方です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども緊急ショートステイについては、計画案 58 ページのとおり、養育協力家庭（への委託）を取り入れる予定です。 ・スクールカウンセラーにつきましては、東京都から各公立学校に配置されており、配置日数の増加については引き続き東京都に要望してまいります。 ・教育相談室の来室相談・電話相談の時間を変更することは予定しておりませんが、平成 30 年度よりメールによる相談受付を行っております。 ・保育士賃金については、国の基準に基づいた処遇改善の補助を行っております。 	子ども家庭支援センター・指導課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
33		71	<p>産後ケア事業について 体が産後のダメージから回復しておらず、ホルモンバランスも大きく変化する時期の支援として、産後ケア事業を稲城市でも実施していただけないでしょうか？</p> <p>令和3年4月から(機能としての)子育て包括支援センター事業が実施されるということですし、ハイリスクな産婦さんに対する「具体的な手立て」になるのではないかと思います。</p> <p>産後うつや虐待などのリスクが高い時期を支える公的な支援として、よろしくお願いします。</p>	産後ケアの実施については、今後の課題であると考えております。	健康課
34		62	<p>利用者支援事業(母子保健型事業)について 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援、とあります。東京都も子供・子育て支援総合計画を立てており、その中で、とうきょうママパパ応援支援事業というものがあると先日知りました。</p> <p>その中で、産後家事・育児支援事業は1割程度の利用者負担で家事育児サポーターを60時間(第一子の場合)利用できる内容がありました。もし利用できれば、動けない産後本当に助かると思いました。</p> <p>また、親世代とは育児の常識が変わっており、あまり参考にならなかったり、意見が割れて衝突することもありました。子育てサポーターに来てもらえた</p>	妊婦全数面接の実施については、子育て世代包括支援センター事業として検討してまいります。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の実施に向け今後も取り組んでまいります。	健康課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			<p>ら、第三者としてちょっとした相談にのってもらえ、産婦の不安が解消されるのでは、と思いました。また、必須事業として、保健師等専門職による妊婦全数面接がありました。これも、特に初産婦のときはあったらありがたいと思います。妊婦のとき、どうしたらよいか不安でしたが、誰に相談してよいか分かりませんでした。結婚を機に稲城市に来たので出産直前の出歩けない時期に会える友達もおらず、孤独でした。産後の備え方や、心身の変化について、相談できる人がいたら安心すると思います。</p> <p>当実施期間の5年間だけでもいいと思います。前もって、5年だけ、と告知して、当事業を稲城市でも取り入れていただけたらと存じます。</p> <p>もしくは、上記事業に近い形で産後のケアおよび、妊娠期(特に初産婦)の全員相談を実施いただけたらと存じます。</p>		

35	53,54	<p>「お父さんじゃわからないと思うので、お母さんに渡してください」</p> <p>3年前に次男が生まれて、当時2歳の長男を連れて、出産時にいただく書類を「保健センター」に取りに伺ったときに言われた一言です。</p> <p>男性の育休、育児参画が、まだまだ受け入れられていないのかもしれないと、驚き、悲しくなった出来事でした。</p> <p>私は、教育関係の仕事をしていますが、教育の現場では、LGTB、発達障害、不登校、貧困など様々な子どもや親がいるということに目を向けることが大切な時代です。今までの「当たり前」で、会話をすると傷つく人がいるかもしれないからです。</p> <p>ぜひ稲城市が、男性の育児参画しやすい街、様々な背景の方も暮らしやすい街になってほしいと願っています。</p> <p>さて、私の1ヶ月の育休取得のあと、やはり妻は出産後の身体の不調や寝不足、動きたい長男と生まれたばかりの次男の間のジレンマに苦しんでいました。</p> <p>そんな中、稲城市の育児支援ヘルパーの制度に、わが家は大変お世話になり何度も救われました。</p> <p>お願いする前は、知らない人に家事や育児の援助をしてもらうということに抵抗がありましたが、実際に助けられている妻を見て、仕事で家にいられない</p>	<p>・育児支援ヘルパー事業については、現在の事業を継続していくこととしており、無料券の配布については実施予定はございません。</p>	<p>子育て支援課（子ども家庭支援センター）</p>
----	-------	---	---	----------------------------

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
			<p>私としても本当に救われました。</p> <p>残念なことに、この制度を知らない、または使ったことのないお母さんも多いようで、もっと気軽に使えるようになればと思っています。</p> <p>そのためにも「お試し無料券」があったら、この制度が広がるのかもしれない。</p> <p>ちょっと1時間、だれかが家にいてくれて、家事や子育てを助けてくれる経験をする、苦しいときに他者に助けを求めてよいのだということを体験できるような気がします。駐車場の1時間無料券は、車を利用する人にしか利益がないので、代替するものとしていかがでしょうか？</p>		

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
36		12,17	<p>保育園や小学校就学、療育サービスなど、必要な情報提供の強化および支援サービスそのものの充実、また相談体制として医療ソーシャルワーカーの配置などの検討を考えて欲しい。(医療ソーシャルワーカーは特化した資格ではありませんが、医療面で不安を抱える場合が障害児親子では多いため、そういう事にも配慮できる社会福祉士がより良いと考えています)</p> <p>重症心身障害児から発達障害といった障害程度の違い、医療的ケアの有無、内部疾患等による服薬管理など、各自それぞれに要素が複合的に絡み合っています。制度の狭間になり、既存の支援では対応が難しく支援が途切れてしまうことがあるので、全ての児童が同一の支援を受けられるように支援の見直し・拡充をお願いしたい。</p>	<p>・障害児への支援につきましては、各種相談やそれぞれの状況に応じて、適切に障害福祉サービスが提供されているものと考えております。</p>	障害福祉課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
37		93	<p>スクールゾーンは、とてもよい制度だと思っています。継続していただきたいと思います。</p> <p>ただ、その他の通学路になっている、歩道が無い道路について、安全の確保が万全ではない不安があります。とくに、新しい南武線沿線の道路は、自動車の抜け道となっており、トラックなども猛スピードで通るのを毎日見えています。30キロ道路のはずですが、信号が無く、障害物などもない真っ直ぐな直線なので、50～60キロは出ているのではないのでしょうか。小学校などでアンケートをとっていると思いますが、保護者の声が一番現実的なので、子どもたちの交通安全を守るためにも、このような保護者の声は採用していただきたいです。何年もお願いの声を出しているのに、改善されていない危険箇所もいくつかあると聞きます。</p> <p>事故が起こる前に、是非、ご検討ください。</p>	<p>通学路は、各学校が、保護者のご意見や通学する児童の実情を踏まえて指定しており、要望に基づき、毎年、各学校PTA、学校管理職、多摩中央警察署、市管理課、市教育委員会学務課により、通学路合同点検を実施しております。</p> <p>これにより、交通安全や防犯等の観点から要望箇所の改善に努めていますが、学校のみならず日頃からのご家庭での安全教育が重要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。</p>	学務課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
38		不明	<p>学童保育の点数について。 在宅だと一点低くなるのは今のはたらきかたとして今後の働き方として、納得できません。 もともと在宅での仕事がメインで働いていきたいので、そこで家にいてこどもが見られるでしょう、ということは実家の両親に頼ることも難しい人たちからするとなかなか難しいと思います。</p>	<p>学童クラブでは、保護者の就労等に応じて、入所基準指数を定めており、併せて、調整指数や家庭環境等を考慮して入所決定を行っております。入所基準については、適宜、見直しを行っておりますが、現在の基準では、居宅内労働に比べると居宅外労働の方がより必要性が高いと判断し、指数を設定しております。</p>	児童青少年課
39		不明	<p>(1)保健センターでの検診の後、落ち込みすぎて立ち直れなくなっている人たちを何人もフォローしてきました。次の検診までの期間の、グレーゾーンだった人たちのその後のフォローをできるようにしていただきたいです。 (2)道の段差が多く、もうすこしなだらかにしていただきたいです。ベビーカーですべてのつなぎでつまづくので、とても歩きにくいです。</p>	<p>(1)乳幼児健診後につきましては、保健師が電話や訪問などでフォローしています。今後も保護者のお気持ちに寄り添いながら対応してまいります。 (2)計画案89ページにありますように道路整備に努めるとともに、個別で対応が必要な箇所については担当部署において必要性を判断し対応いたします。</p>	健康課、土木課

NO.	応募方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
40		56	<p>一時預かり保育<保育所等における一時預かり事業>について</p> <p>表では、令和2年度の第3地区以外は「量の見込み」に対して十分な「確保提供量」のように見受けられます。</p> <p>しかしながら、実際には定員以上の申し込みがあり、予約をお受けできない状況が多々ありました。待機児の受け皿のような役割の年もあったこと、配慮を要するお子さんや低月齢児の預かりのために、定員まで受け入れることが難しい、など様々な要因があります。一概に「量の見込み」「確保提供量」では見えないものが一時預かり保育にはあるように思います。</p> <p>実は、予約する元気すら出ないような人にこそ、必要な支援だと思います。そのような方も利用でき、職員の配置に無理なく運営できるといいなと思います。</p>	<p>一時預かり実施事業者には、原則、定員までの受け入れをするように指導してまいります。</p> <p>定員自体が少ないことについては、待機児解消策を行っていることから利用児童数が減っている園もあるため、定員を増やす状況にはないと考えます。</p>	子育て支援課(保育幼稚園係)

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容（概要）	回答	回答担当課
41		67	<p>学童利用量の見込みに対して、確保提供量は放課後子ども教室を含んだ数を持って比較されているが、利用する親にとって学童保育と放課後教室は違うものであり、学童保育の提供量と比較して不足している点をしっかり認識して学童の定員の増加を目指すべきである。</p> <p>特に3.4年生の頃は、長期休みさえ学童に入れば通常の放課後は利用しなくても良いという子供も多いので、長期休みのみ、定員を増やすという取り組みがあっても良いのではないか。</p>	<p>市では、すべての就学児童が放課後等を安心・安全に過ごせるよう学童クラブと放課後子ども教室が連携して、提供量を確保するとしており、学童クラブを新たに設置することは現在、予定しておりません。</p> <p>学童クラブの定員につきましては、子どもを安全にお預かりするため、「稲城市学童クラブの設備及び運営に関する基準」に基づき、各施設に定員を設けておりますので、長期休みの期間だけ定員を増やすことは、子どもの安全面から考えておりません。</p>	児童青少年課

NO.	応募 方法	計画の該当ページ (本人による申告)	内容(概要)	回答	回答担当課
42		10,67	<p>10 ページによると、H26 年から 30 年にかけて 0 歳児の保育園定員は 40 人以上増えているのに対し、67 ページでは、それぞれの 0 歳児が小学校に進学する R2 年から 6 年にかけての学童保育の量の見込み増加が 35 人となっている。なぜ同じだけの人数増加を見込まないのかの理由が明確でない。またそれに対して定員は全く増えておらず、その理由も不明である。</p> <p>放課後教室が設置されていても、低学年の保育体制としては不十分であり、保育園定員増加に伴って、学童保育の定員増加を早急に行うべきである。</p>	<p>見込みの数字はニーズ調査でのニーズや申込実績により算出したものです。年齢によって、保育を必要とする保護者の率は変わるため、保育所を利用していた子どもがすべて学童クラブを利用する見込みではありません。</p> <p>放課後の児童の居場所としては、市内 15 箇所の学童クラブと市内全小学校（12 校）での放課後子ども教室、児童館 5 館と i プラザがございます。</p> <p>市では、すべての就学児童が放課後等を安心・安全に過ごせるよう学童クラブと放課後子ども教室が連携して、提供量を確保するとしており、学童クラブの入所については、低学年の子どもを優先しております。</p>	児童青少年課